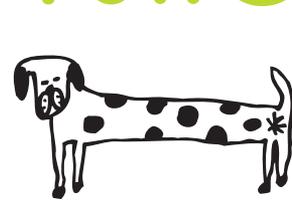


w a

spring
2014

vol.61



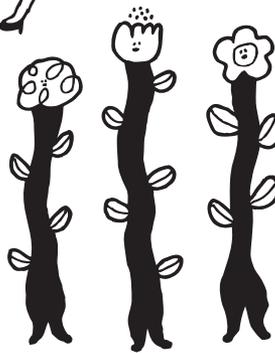
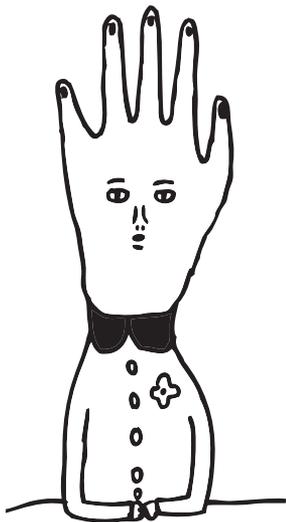
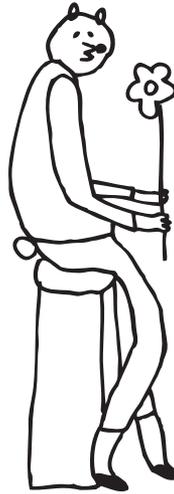
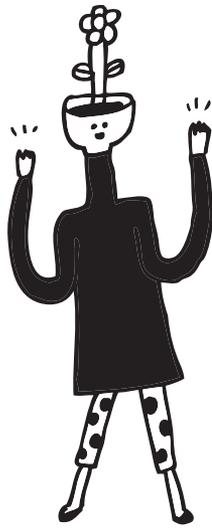
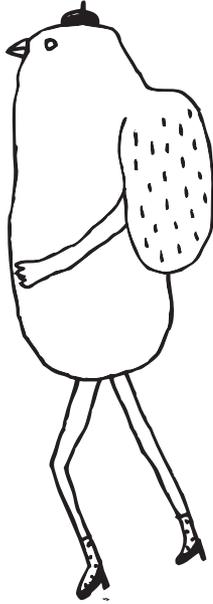
アーティストエッセイ
水中表現家 二木あい

あのアーティストに会いたい!

現代音頭表現家 山中カメラ

はこばなし

福岡市民会館



アート、みつけよう



福岡市文化芸術振興財団
Fukuoka City Foundation for Arts and Cultural Promotion

artist essay



二木あい
水中表現家

Ai Futaki 1980年石川県金沢市生まれ。3歳より水泳をはじめ、高校卒業後、他の日本人と同じような進路を進むのは嫌だと考え世界へ。そこで出会ったフリーダイビングに没頭し、2011年1月フリーダイビング(素潜り)で長距離を泳ぐギネス記録を、世界初のフィン無し、女性として世界初となるフィンあり両方で樹立。「きれいな海を多くの人に見てほしい」との思いでカメラマン、モデル、パフォーマーとしても活躍している。

web <http://ai-futaki.com>
facebook www.facebook.com/aifutaki

水中では、空気ボンベを背負わないフシ共有しています。

私にとっては水中は自分の居るべき場所、そして帰る場所。小さい頃から競泳を習い、高飛び込みやポディーボード、ウェイクボード、スキューバダイビングの講習を受けていました。初めて器材を背負ってどっぷり水中に潜った時、「あ、私の居る場所はここだ!!!」と直感し、そこから私の水中生活が始まりました。

フリーダイビング(素潜り)を始めたきっかけもひよんなことで、友人が「フリーダイビングの講習受けるけど、やってみたい?」と誘ってくれたこと。スキューバダイビングは、水中に長く居られますが、息を吸う時のスーっという音、息を吐く時のブクブクと泡が出る様が、水中世界にはもともとないものなので、動物たちがそれを察知した瞬間に逃げてしまします。だから、いつまで経っても私は侵入者でしかなかったので、フリーダイビング

Re-Connect with the Nature.
(自然と再びつながりましょう)

これからはドンドン水中の美しい、楽しい、Happyな世界を表現していきます! みなさんも、自分らしい自然との繋がりを発見してみてください。実は、すぐそこにありますよ。ふふふ。

みなさん、初めまして。水中表現家の二木あいです。

え? 水中表現家? と思われた方、そうなんです。これは私が造った造語です。もうホントそのままの意味です。水中を表現するから水中表現家。水中世界と陸上世界の架け橋となるべく、水中からのメッセージを伝えていきます。

表現方法は様々で、撮影者として、水中モデルとして、パフォーマーとして、アーティストとして、講演などスピーチを通して、テレビ番組などメディアを通して、実際に体験していただく教室のインストラクターとして、水中世界を表現し共有しています。

リーダーダイビング(素潜り)で全て行っています。海洋は乳類同様、水面で呼吸をして水中で息を止める。水中で生活する彼らと同じ方法で水中を訪問するので、一番自然な、あるがままの世界を表現できます。ちっちゃな魚たちは、「え? 私たちのこと守ってくれるの?」と寄ってきたり、アシカたちは、「ねえねえ、一緒に遊ぼうよ!」と戯れてきたり。そこに私が居るのが当たり前かのように動物たちは振る舞い、私は水と一体となって水中に居ます。

私にとって水中は自分の居るべき場所、そして帰る場所。小さい頃から競泳を習い、高飛び込みやポディーボード、ウェイクボード、スキューバダイビングの講習を受けていました。初めて器材を背負ってどっぷり水中に潜った時、「あ、私の居る場所はここだ!!!」と直感し、そこから私の水中生活が始まりました。

グなど「水」に関するスポーツは色々チャレンジしてました。今思うと、何だかんだで水に帰りたいな。そんな中、ある時ふつと「あ、スキューバダイビング(空気タンクを背負って潜るもの)やったことないなあ。試してみようかな?」と思ったのがそもそもの始まり。色んなことがあって落ち込んでいたのですが、決めたら早い! 1週間後には、中米のホンジュラスでスキューバダイビングの講習を受けていました。

初めて器材を背負ってどっぷり水中に潜った時、「あ、私の居る場所はここだ!!!」と直感し、そこから私の水中生活が始まりました。

水中表現家として色々な方法で水中を表現することで、一人でも多くの方に興味を持っていただきたい。そして「あー」と感じてもらいたい。自然は私たちと常に一緒にいるんだよ。私たちは自然の一部なんだよ、と。

現代、何でもあるこの世の中。だけれども本当に大事なことを、私たちはどこか遠くに置き忘れてきてしまったのではないのでしょうか?



ユニークな生きものたちの発想はどこから?

よく公園やカフェなどで絵を描くのですが、たとえば大濠公園の池の白鳥たちを見てこうかな...とか、カフェで人間ウォッチングをして面白い人がいるな...と、周りを観察しながらイメージをふくらませています。

アーティストでよかったと思うことは?

絵を介して、色んな人と友だちになれること。最近はオンライン上で私の絵を知って、遠方から個展に来てくださる方もいます。私は人に喜んでもらえて、人とつながれるからこそ、絵を描いているんだと思います。

作品を様々なグッズにすることへの思いは?

作品が生活の中に溶けこむといいなと思うので、衣類や文房具など日常使いできるもの、ぬいぐるみなど可愛がってもらえるものを作っています。他の作家さんとコラボして新商品が生まれることも多いです。

福岡で創作活動することの魅力は?

私は生まれも育ちも福岡なので他とは比べられないですが、人に恵まれているなあと感じます。私の周りにも楽しくクリエイティブで色んなことを知っている、心豊かな人たちがいます。そんな素敵な人たちから刺激をもらうことがいい創作に繋がるのだと思います。

これからどんな活動をしていきたいですか?

昨年フリーになって以来、不思議と色んなご縁があり仕事の幅がぐんと広がりました。好きなだけ絵を描ける今の生活を楽しみながら、マイペースで続けていきたいです。ちなみに今年の創作テーマは「merci」(仏語でありがとう)です!

oshow

おしょう

PROFILE

ものづくり作家。福岡県生まれ。九州造形短期大学卒業後、一般企業、工房まるを経て2013年独立。福岡を拠点に描画やデザインの創作活動を行う。人間や生きものをモチーフとしたユニークな作風で、全国各地で個展を開催。紙や布などの素材を使った様々なグッズも制作する。



2013.5 個展「INDEPENDENCE DAY」(TERCEIRO / 福岡)
2013.7 個展「旅する oshow」(熊本、東京、名古屋、福岡)



便箋、カップ、ブローチなどのグッズ



ストールや衣類なども人気

お知らせ ○4/19-29 TERCEIRO(福岡市中央区港)にて個展を開催
○5/2-14 モノコト(名古屋)にて個展を開催

oshowさんのグッズを買えます!
uchu-do space
福岡アジア美術館7階
【営業時間】 10:00 - 19:00
【定休日】 水曜
【TEL】 092-262-8006
<http://space.uchu-do.jp/>

厳選したアート関連グッズの販売や様々な展示を行う。

今年も特典盛りだくさん! 福岡の美術館・博物館めぐりをお得に、好きなだけ楽しめるチャンスです

福岡ミュージアムウィーク2014/ 5.17(土)~25(日)

Art TRIP in Kyushu

1 期間中、コレクション展の観覧料や入館料が無料!

【無料】福岡市博物館・福岡市美術館・福岡アジア美術館のコレクション展の観覧料、九州産業大学美術館の入館料
【リーフレット持参で割引】「博多町家」ふるさと館、王貞治ベースボールミュージアムの入館料、三菱地所アルティウムの入場料
【常時無料】福岡市埋蔵文化財センター、はかた伝統工芸館、九州大学総合研究博物館、西南学院大学博物館

2 スタンプラリーで素敵な賞品が当たる!

11施設のうち2ヶ所のスタンプを集めると、抽選で賞品がもらえます。
例) 特別企画展ペア招待券
お食事券・お買い物券
プロ野球ホークス公式戦ペア招待券
博多座公演ペア招待券
福岡オーブントップバスチケット...など

<http://f-museum.city.fukuoka.lg.jp>

wa vol.61 2014年春号(2014年3月20日発行)

発行	公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団	発行月	3・6・9・12月(季刊)	編集	内田光香
	〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-10	発行部数	25,000部	編集協力	デザイン 中川たくま / イラスト 中川なつき(青い月)
	福岡消防会館6F	配布場所	九州・全国の美術館・博物館、文化・アート関連施設、文化芸術情報館アトリエ、福岡市情報プラザ、市内公共施設、福岡市地下鉄各駅ほか	撮影	泉山朗士(表紙・P2)
	Tel: 092-263-6266 Fax: 092-263-6259			印刷	大成印刷株式会社
	www.ffac.or.jp				©(公財)福岡市文化芸術振興財団 本誌掲載記事・写真等の無断転載および複写を禁止します。

アートのまち

no.4

町の人々との交流から生まれるオリジナル音頭

歌や写真を組み合わせたユニークなパフォーマンスを披露するカメラさん。今、まったく新しい「Bon Dance(盆踊り)」が日本各地を賑わせています。

現代音頭作曲家・特殊写真家・パフォーマー

山中カメラさん

Camera Yamanaka



PROFILE

1978年山口県生まれ。自作の写真、映像、歌が融合した独特の「カメラショー」をライブ形式で展開。近年は「現代音頭作曲家」として国内外の各地に滞在し、住民との交流をもとに現代音頭を制作。様々な人々を巻き込んだオリジナルの盆踊り大会を開催している。

2013年「プロジェクト FUKUSHIMA！納涼！盆踊り」編曲で参加。大友英、坂本龍一両氏と音頭で共演（福島）

2012年 Eco Japan Cup 2012「神山スタダ音頭」でアート部門グランプリ受賞（徳島県名西郡神山町）

2009年「横浜市歌で盆踊りプロジェクト」で「よこはまアラメヤ音頭」を制作。横浜APEC 国際首脳会議に採用される（世界首脳会議 APEC 横浜）

2006年「取手アートプロジェクト2006」「取手マルトノ音頭」制作（茨城県取手市）

2004年「GEISAI-6」に写真、映像、歌、パフォーマンスで出品。「銀賞」受賞。来場者人気投票第1位を獲得（東京）

芸名にも「カメラ」とありますが写真を始めたきっかけは？

そもそもは高校時代に音楽活動をしていて、作曲家になりたくて地元山口芸術短期大学に入学したんです。でも授業に興味を持てず早々に挫折しまして(笑)。当時、EROMIXさんら女性写真家が脚光を浴びているのを見て、私も何か撮れるかも…と軽い気持ちで始めました。普通に風景などを撮っても面白くないので、友人と「裏写真部」というユニットを組んで、お互いを撮り合っていました。たとえば土手から川に飛び込む

それがどのようにパフォーマンスのスタイルへと展開していったのですか？

卒業後はユニットを解散し、私は上京してアルバイトをしながら写真と音楽を続けていました。ある時、写真のゼミに参加していて、撮る角度がどうか、シャッターを押すのがあと2秒早かったら…と話す著名な写真家の講評を聞きながら、私には写真の「良し悪し」は理解できないなと思ったのです。私にとって、写真は作品そのものの完成度を追求することではないと気づいた。それ以来、

今のBon Danceに「ながら音頭」に出会ったのはいつですか？

2006年に「取手アートプロジェクト」に参加した際、ゲストプロデューサーの作曲家・野村誠さんが、「カメラを使って何か面白いことをする」という場面設定にこだわり、パフォーマンスをしながら撮るスタイルになりました。たとえば破廉恥ですが、「オッパイカメラ」は路上にオッパイの模型とカメラを設置して道行く人に指で押してもらい、その瞬間を撮るといいうもの。人気がありました。最近では必ず警察が来るので最近回数減りましたね(笑)。他にはカメラを使って寿司を握るとか。この頃まではあくまでも自分の個人的な作品を作っていました。

各地域のオリジナルの盆踊りをどのように作るのですか？

呼んで頂いた地域に1ヶ月間ほど滞在して、曲や歌詞、踊り、会場づくりまでイチから作ります。意外に思われるかもしれませんが、事前に下調べはせず、真つさらな状態でいきます。土地の雰囲気を知るために地元の人にインタビューをすると、「あの人が聞くといいよ」「面白い人がいるよ」というように、数珠つなぎに人脈が広がっていきます。踊りの振り、たとえば徳島なら特産のスタダを収穫する手つきとか、土地特有の動作ですね。当日15分くらいみんなで練習すれば誰でも踊れるようなシンプルなもの。私が「よそのもの」の視点でその土地の魅力を探る一方、地元の人たちは郷土の魅力を語ることで、お互いに「一緒に作っている」感じが生まれてきます。本番でも音楽や司会など様々な形で地元の方たちに関わってもらっています。

一昨年、徳島県の「神山アーティスト・イン・レジデンス(KAIR)」で開催したボンダンス大会では、照明にスタダのコンテナを使ったのですが、ちょうど(コンテナを兼用する)ゆずの収穫時期と重なりコンテナが足りなかったんで、みんな隣町からかき集めてきてくれ、電気の配線も詳しいオジサンが仕切ってくれて、僕は土木業

の社長さんが組み立ててくれ…まさに住民総出で協力してくれました。本番後に、おばあちゃんに涙を流して「ありがとう」と言われて、私こそ「ありがと」と…もう言葉になりませんでしたね。ボンダンス大会は、最初から最後まで地元の人たちに支えられて実現できています。

別府なら銭湯の洗面器を照明に使うなど、会場づくりも斬新ですね

ボンダンス大会は、その場に居合わせて実際に踊ってこそ体感してもらえる作品なので、楽しい気分、周囲の人とも一体感を持てるような雰囲気づくりがとても大事なんです。これまで各地で踊られてきた盆踊りには提灯、太鼓、櫓、と定番の型がありますが、現代の感覚と技術なら何が出来るだろう？と考えるのがです。太鼓の代わりにサックスの生演奏でもいいかもしれないし、映像を使ったら面白いかもしれない。奇抜な表現を狙っているのではなく、新しい発想をプラスすることで、今まで味わったことのない体験してもらえたらと思うのです。やっぱり常に「何か面白いことを提供したい」と思うところは、半分アーティストで、半分芸人なのかもしれません(笑)。その楽しい記憶が住民の方たちの心に残って、2回目、3回目と地元で踊り続けてもらえたら嬉しいですね。

これからどんな活動をしていきたいですか？

今年は「Bon Dance」の活動を法人化する予定です。決して自分から「行きます」といつてやるものではないのですが、依頼をいただけたら、私自身も色々な地域との出会いを楽しみながら広がっていきたく思います。最近では昔から憧れていた大友英良さんとボンダンスをする機会がありました。ボンダンスをきっかけに、様々なアーティストの方々とつながることで、また新たなボンダンスが生まれるのかもしれない。この先の展開は未知数ですが、いつかドイツのボンで、フルオーケストラ、フルコーラスでやるのが夢です。今は大分県東半島を拠点に活動しながら、「ボンダンス」がブームになったら…なんて日々妄想しています(笑)。

ここで山中さんに会えます！

- 1 くにさき時祭(ときのまつり) 大ボンダンス大会
【日時】2014年10月13日
【会場】大分県国東市アキ工作社グラウンド(旧西武蔵小学校)
- 2 「甲府のまちの芸術祭」縁故節再演
【日時】2014年11月
【会場】山梨県甲府市



1. 山中カメラさんと住民が一致団結して作るボンダンス大会。2. 地域の民謡会のご婦人方と一緒に曲の稽古。3. 土木業の社長さんと当日の打ち合わせ。すべては現地で作られる。4. 徳島神山町では特産品のスタダのコンテナを照明に使用した。5. 地元の学校の吹奏楽部とコラボすることも。

はこばなし

劇場、ホール、音楽堂…
福岡の文化は街の“はこ”から。

#12 福岡市民会館 100年続く“文化の殿堂”めざして

西日本一の文化ホールとして開館

昭和38年10月の『市政だより』に大きく載った、「市民の夢、ここに実現」の見出し。高度経済成長時代へ向けて走り始めていた当時、福岡市の人口は約70万人。博多駅の現在地への移転、団地の建設、下水道の整備など街が急速に発展するなか、福岡市民会館は西日本最大の文化ホールとして誕生しました。

「当時は“文化の殿堂”ともてはやされていましたね」そう話すのは、30年以上会館の歴史と共に歩んできた館長の梶原さん。最新機材を備えた大ホールや、同時通訳に対応する国際会議室、洗練された内装などは、公演する人、観る人どちらにとっても憧れの“はこ”。開館と同時に「市民芸術祭」も始まり、音楽、演劇、会議とあらゆる形で利用され親しまれてきました。

市民の創作活動をきめ細かにサポート

その後、昭和56年に市民会館より席数が500席多い福岡サンパレスが開館します。「より多くの集客をめざす全国ツアーなどの興行はあちらに移りましたが、うちは主に追悼式など市の行事や、学校を含む市民の創作活動の発表の場として支持され続けてきました。利用率は今も約80%と高めです」と梶原さん。

現在、市内で10000〜20000席のホールは他にアクロス福岡と国際会議場がありますが、市民会館の利用料は格段に手頃です。また設備面の特徴としては、古い構造で

客席がワンスロープなので、舞台と客席が一体感を持ちやすいことや、音響のデッドポイントが少ないことなどが挙げられます。

昨年、開館50周年を迎えた市民会館。建物の老朽化や設備の劣化が目立つようになりました。特にバリアフリー対応は十分ではありません。いまや表向きの派手さはないものの、現場を知り尽くしている梶原さんが大切にしているのは、イベントの目的に応じた設備や演出に関するきめ細かなアドバイス。「催し物は楽しむためのものですから、施設側の都合であれこれ制限せず、あるものを最大限活かして満足して頂けるようにサポートしています」

老朽化と再生の狭間で

市民会館は、今後新しい施設に生まれ変わる計画が進んでいます。福岡の顔としてどんななほこであるべきか？ 明確なビジョンが示されるのはまだこれからです。文化拠点のあり方について大学で学んだことのある梶原さんは、現場での実感も込めて

「生み出す」が鍵だと言います。

「これまで福岡の公共ホールは博覧会などのイベントを機に発展してきた背景もあり、場所に合わせて作って、あとは空ばこを提供するというあり方です。でも本来は福岡からどんな文化を発信したいかの企画あってこそのはこなんです。福岡らしい芸術文化のあり方とは…？ 形になるのはまだ先でしょうが、ここにこれぞという芸術性の高い公演を呼んで、それが地元で創作する人たちの刺激となり、福岡から良いものが生まれる…そんな好循環で人と文化が育っていくはこができると思いますね」

さらに、こつも続けます。

「昨年、開館50周年記念で写真展を開催した時、過去の公演の記録がほとんど残っていないことに愕然としました。きちんと保存すれば古いこと自体に貴重な価値が生まれます。今後はアーカイブを残して文化の重みを伝えつつ、その上に新しい文化を積み重ねていき、100年先に生きる未来の人たちにとっても価値ある“はこ”として続いていくといいと思います」



建設が始まって間もない頃。遠くに見える当時の天神や手前の車が時代を感じさせる。



開館当初の市民会館。



開場時間を待つ人々。一年目の入場者数は延べ57万人に登った。



東北からの報告

8 最終回 映像の世紀



撮影：越後谷 出 提供：3がつ11にちをわすれないためにセンター

気仙沼大島の島内にある石碑。「THE MEMORIAL OF GREAT EARTHQUAKE AND TIDAL WAVE」と書かれている。TIDAL WAVEとは、津波のこと。

われわれはバックミラーを通して現代を見ている。

われわれは未来に向かって、後ろ向きに進んでゆく。

マーシャル・マクルーハン

本来、そうなのでしょう。人は過去を見ることで今を吟味し、明日へと望んできました。写真のような津波にまつわる石碑は、岩手、宮城、福島をあわせて300以上、ありました(*1)。でも、まちの開発には、石碑を伝えようとする声

うまく届きませんでした。

東日本大震災では、インターネット上に膨大な量の動画が残りました。一般の人々によるものも多く、メディアテークを含め、防災関連機関や大学、放送局、企業、図書館などによるアーカイブが立ち上がりしました(*2)。たしかに、情報量の多い映像の方が、石碑より往時をうまく伝えるのかも知れません。ただ、将来の人々が、これらの映像を用いて過去を振り返り、学ぶうえで、今のわたしたちには、手にあまるほどの大き

な課題があるように思えます。

統計によると映画誕生からこれまでに、約72万本の作品が世界中で製作されました(*3)。仮に1本の長さが1時間半として、合計で100万時間余りとなります。また、昨年の5月、動画共有サイトYouTubeによって、毎分100時間の映像がアップロードされているという報告がなされました。これが事実だとすれば、130年あまりにつくられた映画の長さを超える映像が、およそ1週間でインターネットを介し世界に溢れ出ている状態となり、1年間に60000年分の時間にあたる映像が蓄積されることとなります。

これが21世紀の映像なのです。そして、だれもが喧噪の中、耳を塞ぐように、これらの映像による情報過負荷から、わたしたちはすでに目を塞いでいるようにも思えます。あれから3年が経ち、今回でこの報告も最終回です。最後に考えたかったのは、わたしたちはどのようにして過去から学ぶのか。それも、市井の暮らしの中でこそ必要に思え、その方策を得ることがわたしたちの課題に思えます。はたして、日々、溢れかえるこの映像のロデオをわたしたちは乗りこなすことができるのでしょうか。

*1 過去の明治三陸地震津波、昭和三陸地震津波及びチリ地震津波の3大津波で残された石碑は東北三県で317基（国土交通省東北地方整備局道路部「津波被害・津波石碑情報アーカイブ」による）

*2 東日本大震災アーカイブ群
防災科学技術研究所 311 まるごとアーカイブ <http://311archives.jp/> / NHK 東日本大震災アーカイブ <http://www9.nhk.or.jp/311shogen/> / 東北大学みちのく震録伝 <http://shinrokuden.irdes.tohoku.ac.jp/> / ハーバード大学 ライシャワー日本研究所 東日本大震災デジタルアーカイブ <http://www.jdarchive.org/> / 首都大学東京 渡邊英徳研究室 東日本大震災アーカイブ <http://shinsai.mapping.jp/> / NDL 東日本大震災アーカイブひなぎく <http://kn.ndl.go.jp/> / google 未来へのキオク <http://www.miraikioku.com/> / yahoo 東日本大震災写真保存プロジェクト <http://archive.shinsai.yahoo.co.jp/> / せんだいメディアテーク 3がつ11にちをわすれないためにセンター <http://recorder311.smt.jp/> など、形態はさまざまながら数多くある。

*3 IMDb / Internet Movie Database <http://www.imdb.com/stats> より算出。

甲斐賢治

かいけんじ●せんだいメディアテーク 企画・活動支援室室長。大阪生まれ。主に地方行政の文化施策に従事し企画、運営に携わるとともに、NPO 法人 remo、recip、art NPO link、hanare などの設立と活動に参加、社会活動としてのアートに取り組む。2010年春より現職。平成23年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

せんだいメディアテーク www.smt.jp

2001年開館。美術や映像文化の活動拠点として、すべての人々がメディアを通じて自由に表現・交流するためのさまざまな公共サービスを提供する。記録・発信による支援活動を行う「3がつ11にちをわすれないためにセンター」、人々が集い語り合いながら震災復興や地域社会、表現活動について考えていく場「考えるテーブル」などのプロジェクトも行われている。



福岡ダンスFRINGEフェスティバル FUKUOKA DANCE FRINGE FESTIVAL ～ダンスの発火点～ vol.7



Fukuoka Dance Fringe Festival

2014年2月、福岡市のぼんプラザホール、紺屋2023・konya-galleryにて福岡ダンスFRINGEフェスティバルvol.7が開催されました。公演、ワークショップ、トークと、コンテンポラリーダンスの魅力をもさまざまな角度から楽しめる、年に一度のダンスの一大イベント。国内外から参加者を迎え、今年も盛況に終わったフェスティバルの様をお届けします。

開催概要

1 公演

〈Main Program〉

日時：2014年2/8(土)・9(日)
会場：ぼんプラザホール

- 【A block】 木室陽一・つるた薫(松山・福岡)、COLONCH(東京・岡山)、長内裕美(東京)、Yang Joo Hee(ソウル)
- 【B block】 高橋和誠(東京・青森)、Betty Bears' Cabaret(東京・福岡)、黒須海海(東京)、Dian Dian Corridor Modern Dance Company(中国)
- 【C block】 小谷葉月(埼玉)、山本泰輔&ダンサーズ(福岡)、伊達麻衣子・竹田栄次(ベルリン)、Kim Bong Soo(ソウル)
- 【D block】 加藤正汰郎(札幌)、プッチャーニ(ベルリン・熊本)、宝栄美希(東京)、Goblin Party(ソウル)

〈Special Night Program〉

日時：2/8日(土)
会場：紺屋2023・konya-gallery
垣内美希(北九州)、Sora(福岡)、青☆春アンバサダー(福岡)、山口佳子(山口)、高須悠嵩(岡山)

2 フリンジワークショップ

Susan Buirge(スーザン・バージュ)コンポジション・マスタークラス
1/24(金)・1/27(月)・2/6(木)
康本雅子 ダンスワークショップ
2/4(火)
Kim Bong Soo(キム・ボンズ) ダンスワークショップ
2/5(水)

3 トーク〈Cross Talk〉

オープニングトーク&レセプション
〈日時〉2月7日(金) 〈会場〉紺屋2023・konya-gallery
中国最新ダンス事情!!
〈日時〉2月8日(土) 〈会場〉FAAM CAFE(福岡アジア美術館内)クワン・ウェイラップ(中国)
躍進する韓国ダンス事情!!
〈日時〉2月9日(日) 〈会場〉同上
ユク・ワンスン(韓国)
The Review ～作品講評会～
2月9日の公演終了後、ディレクター、アドバイザー、出演者による作品の講評会。

福岡ダンスFRINGEフェスティバル(FDFF)って?

福岡ダンスFRINGEフェスティバル(以下FDFF)は、「新進気鋭の振付家・ダンサーの作品発表・実験の場であること」「多彩で新しいダンスをさまざまな角度から楽しむ、探求する場であること」「振付家・ダンサーおよびダンスに関心のある人の交流の場であること」を指して、NPO法人コデックスのスイエイン佳子さんが7年前にスタートさせたコンテンポラリーダンスのフェスティバルです。福岡市文化芸術振興財団は、昨年からのフェスティバルをサポートしています。

をきっかけに交流の場を広げ、ダンスのエクステンジを行っています。フェスティバルの名前にもなっている「FRINGE」という言葉には、「ふち、へり、周辺」という意味があります。高い技術力を持ち、「美しい」と一般的にいわれるようなダンスだけではなく、その周辺に無限に存在している、様々なダンス作品にもスポットをあて、その可能性や多様性を楽しむというのが狙いです。巢窟とも言えるFRINGEの渦の中でこそ、自分の想像を超える大きな衝撃にぶつかることもあります。そんな作品に出会えることが、このフェスティバルの魅力だと感じています。(事業コーディネーター・鈴木詩麻)



Dian Dian Corridor Modern Dance Company(中国)



撮影：泉山朗士

今年の福岡ダンスFRINGEフェスティバルを終えて...

フェスティバル・ディレクター スウエイン佳子



ダンサー、振付家。NPO法人コデックス代表理事。福岡ダンスFRINGEフェスティバル芸術監督。九州大谷短期大学表現学非常勤講師。

2008年にスタートし、毎年予想以上の発展をとげてきた当フェスティバルですが、今年はこれまで使用していた大博多ホールが閉館したため、客席数が四分の一のホールで開催するという大変革の時を迎えました。しかしこれまで通りコンテンポラリーダンスの多様性をお客さまに観ていただきたいとの思いで、作品数は同じ21作品とし、公演形態を工夫して開催することを決心。FRINGEラッキーセブン」と銘打ってニコニコ笑っていました。内心ヒヤヒヤ…。しかし猛烈に頑張ってくれたスタッフに支えられ、終わってみると「どんどん成長していくFRINGEを見るのが本当に楽しみです。こうしてアジアに広がっていくのが、なにより素晴らしい」「いやぁー楽しかった。ステキな作品とステキな人たちに出会えた、素晴らしい機会でした」誰もが褒めるようなものばかり

ではなく、若い才能に発表の場を与え、さらにハイコオリティのダンスと交流させる…こんな贅沢な場は日本中探してもないですよ」などと本当に嬉しいフィードバックをいただき感激しています。印象的だったのは3つのFRINGEワークショップ。第一弾のスーザン・バージュ女史によるワークショップでは、彼女が人生をかけて探求し続けるダンスを「踊り」ではなく「舞」と呼び、振り付けの段階であるコンポジションについて取り組みました。ダンスの枠を超えた思考の仕方、生き方までも明快にするような、普遍的で貴重な内容でした。参加者を厳しく、しかし理解できるまで温かく受け止め教授する彼女の姿勢や言葉から、計り知れないほどの気づきを得た気がします。

面目躍如の、身体も心も自由で軽快になる楽しい内容でした。最後のキム・ボンズによるワークショップは、中国招聘作品の振付家も参加し、グローバルな雰囲気。韓国のライブ音楽や映像と、参加者が4人組になって考えた振り付けをコラボレーションして見せ合うという体験がわずか2時間で実現。表現したい踊りを空間と時間のなかでどう包括的に創り観せるか…ダンス作品を創る人には興味の尽きない、とても面白いものでした。その他セミナーやトークなど関連イベントも充実し、地元や海外のダンサー、振付家との間に密接な交流が生まれたことは素晴らしい成果でした。今後も初心を忘れず、多くの方とダンスの喜びを分かち合っていきます。FRINGEフェスティバルはなんといいっても楽しい!



盛り上がったオープニングトーク&レセプション!



スーザン・バージュのクラス風景



トークでは中国と韓国の貴重な最新ダンス事情の話が聞けました



最終日に行なった講評会の様子



フェスティバル大成功! みなさん、お疲れ様でした!

KBCシネマ支配人によるシネマ案内

PICK UP MOVIE



本年度ゴールデングローブ賞&アカデミー賞3部門受賞!

ダラス・バイヤーズクラブ

主演: マシュー・マコノヒー、ジャレット・レット、ジェニファー・ガーナー

80年代テキサス州ダラス市、カウボーイのロン(マコノヒー)は、ロデオと酒と女の日々、体調を崩した彼はエイズで余命30日と宣告されます。ロック・ハドソンがエイズと公表され同性愛者の病気に恥と噂された時代。自分が罹るはずがないと独学で病気に調べ始めたロン。



© 2013 Dallas Buyers Club, LLC. All Right Reserved.

新薬AZTの副作用に苦しめられ、メキシコに渡って未認可薬を手に入るとすぐに患者たちに配布し始めます。美しいゲイのレイオン(ジャレット・レット)も仲間に入れ、コミュニティを広げていくロン。薬を無料で配布する代わりに会費を募る=ダラス・バイヤーズクラブです。役作りとしてマコノヒーは21kg、ジャレット・レットは18kgの減量を決行。激瘦させた二人の演技は正気を逸しているかのような凄まじい迫力...! 今年の賞を総なめにしたこの作品。実在の人物を演じる命がけの演技は必見です。

宮定貴子 福岡県出身。有楽興行に勤務後、2011年より現職。年間約250本の映画を鑑賞する。
KBCシネマ1・2 <http://www.h6.dion.ne.jp/~kbccline/>
※KBCシネマではわの会特典の割引があります。入会方法はP15をご覧ください。



演劇

第8回福岡演劇フェスティバル

博多の新しい風物詩として定着しつつある舞台芸術の祭典「福岡演劇フェスティバル」が、福岡市内の4会場で開催されます。舞台芸術の素晴らしさをぜひ体感してください。

日時: 4月18日(金)~5月23日(金)
会場: 西鉄ホール、イムズホール、ぼんプラザホール、あじびホール

〈公演スケジュール〉 ※かっこ内は主な活動地

篠田千明(東京) 『アントン、猫、クリ』
4月18日(金) 西鉄ホール

劇団うりんこ(名古屋) 『妥協点P』
4月18日(金)~19日(土) イムズホール

劇団ユニット・ラビッツ(福島) 『ラッキー☆アイランド~のこされ島奇譚~』
4月20日(日) 西鉄ホール

ブルーエゴナク(北九州) 『交互に光る動物』
4月24日(木) 西鉄ホール

14+(福岡) × 劇団HIT! STAGE(佐世保) 『血の家』
4月26日(土)~27日(日) 西鉄ホール

ノアノオモチャバコ(東京) 『胎内』
4月29日(火・祝) 西鉄ホール

プロジェクト大山(東京) 『御開帳』
5月16日(金) イムズホール

FFAC企画公演 ttu(東京) 『おやすみカフカ』
5月16日(金)~17日(土) ぼんプラザホール

Gongter_DA(韓国) 『Foolish』
5月23日(金) イムズホール

〈講座企画〉 梁木さんに演劇の話が田坂に聞いてみる
~「腰巻お仙」から「わが星」まで~
5月11日(日) あじびホール

眠りとは短い死であり、死とは長い眠りである、とはよくいったもので、わたしにとって夢とは死んだ人に会うためのツールです。夢枕に立つのを待たずに演劇を代入して「あのひと」と再会を試みたいと思います。
演出家・山田真実より

問い合わせ: 福岡演劇フェスティバル事務局
(NPO法人アートマネージメントセンター福岡内)
TEL:092-752-8880 PC: www.amcf.jp / Mobile: dmdm.cc/amcf

助成

平成26年度FFACステップアップ助成プログラムの採択事業を決定しました。

演劇	14+ 14+「ソビ狂騒」(仮)ツアー福岡公演&キム・ジョンソク俳優ワークショップ
演劇	グレコローマンスタイル 「僕が、BUSANであれでして」(仮題)
演劇	M.M.S.T 福岡/釜山-劇団・作品交流-「四畳半の碧音」,「クリスマスに30万ウォンと出会える確率」
演劇	劇団HallBrothers 劇団HallBrothers 15周年記念 ロングラン公演『中央区今泉(仮)』
ダンス	いきもんでざいん 踊る女プロジェクトsolosolo.02真吉がみんなで踊るよ「おかつあたまに、にんじんがグサッ!」
ダンス	特定非営利活動法人コテックス Co.D.Exプロデュース ダンス・アジア・ネオ(仮)
音楽	NPO法人箱崎千年音楽会 1,000人の(In C)
音楽	劇団AFRICA Innovation ⇄ AFRICA
音楽	西日本オペラ協会「コンセル・ピエール」 平成26年度西日本オペラ協会「コンセル・ピエール」公演 「クラシックで和の心」
美術	小西 郁 Trübe
映像	園田 裕美 30"portrait
映像	福岡インディペンデント映画祭実行委員会 福岡インディペンデント映画祭
創造活動部門(次世代)	演劇 WET BLANKET WET BLANKETロングラン公演 WET流時代絵巻『神威-KAMUI-』
人材育成・環境整備部門	演劇 劇団ショーマンシップ 今井純による表現者のためのインプロワークショップ(仮)
美術	九州・沖縄アーティスト・ファイル実行委員会 九州・沖縄アーティスト・ファイル2014(仮)

創造活動部門(一般)

創造活動部門(次世代)

人材育成・環境整備部門

華道

第48回福岡市華道展 ~福岡華道24流・会派の作品が一堂に会する「いけばなの祭典」

48年の歴史を誇る本華展は、福岡市を代表する24流・会派を一度に鑑賞できるのが醍醐味。子どもの作品を含め、自然美あふれる約240作品が集結する様は圧巻です! また、アクロス福岡1F吹き抜けスペースに並ぶ大作がいっそう華道展に彩りを添えます。関連企画も大好評。この機会に、日本が世界に誇る伝統芸術・華道の世界観をご体感ください。



昨年開催の様子

日時: 5月28日(水)~6月2日(月) 10:00~19:00
第1次 / 5月28日(水)~5月30日(金)
第2次 / 5月31日(土)~6月2日(月)
※1次と2次で作品が入れ替わります。
※5月30日(金)と6月2日(月)は17:00閉場
会場: アクロス福岡 2F交流ギャラリー 一帯、1Fアトリウム
料金: 無料

〈関連企画1◆男前な華道! ~男子限定のいけばな体験〉

華道をたしなむ洒落男子をめざしませんか?
会社や学校帰りにお楽にどうぞ!
日時: 5月29日(木) 19:00~
会場: アクロス福岡2Fセミナー室1
参加料: 1名につき1,000円(材料費込)
定員: 先着24名



昨年開催の様子

〈関連企画2◆子供いけばな体験教室〉

初心者大歓迎! 小中学生が対象です。作品はお持ち帰りできます。
日時: 5月31日(土) ①13:30~ ②15:00~
会場: アクロス福岡2Fセミナー室1
参加料: 1名につき500円(材料費込)
定員: 各回先着24名

アトリエ

フリーマガジンフェア vol.2 ~もっと楽しむ!新しい本のかたち~

「フリーマガジン」「フリーペーパー」と聞くと、街で配られている広告やクーポンがたくさん載った冊子を思い浮かべますが、わざわざもらいに行きたくなるほど良質な媒体が増えているのをご存知でしょうか? アトリエでは全国から魅力的なフリーマガジンを集めてご紹介しています。今年は昨年に続き第二弾。ラインナップがさらに充実しました。ぜひお気に入りの一冊を探してみてください。数量限定でお持ち帰り可能な冊子もあります。



30種類以上が集まります。

日時: 5月17日(土)~25日(日) ※水曜休
会場: 文化芸術情報館アトリエ
(福岡市博多区下川端町3-1 福岡アジア美術館 7F)
料金: 無料

問い合わせ: 文化芸術情報館アトリエ
TEL: 092-281-0081 / FAX: 092-281-0117

FFAC information

イベント情報の問合せ先
Tel:092-263-6265 / Fax:092-263-6259 / E-mail: pro-c@ffac.or.jp
最新情報はFFAC ホームページへ <http://www.ffac.or.jp/>

舞台芸術

2014福岡舞台芸術シリーズ 『FFAC PLUS+』採択団体発表!

全国公募を行い、多彩な公演をお届けしている『FFAC PLUS+』。今年も下記の4作品がラインナップに決定しました。チケット発売日や作品概要などの詳細は、FFACホームページ及び団体サイトにて順次公開します。今年も自信をもっておすすめする作品ばかり。どうぞご期待ください!

- 〈新規〉
- 富士山アネット/Manos. 『醜い男』(演劇)
日時: 9月 会場: ぼんプラザホール
- 時間堂『つながる』ツアー 2014
『センチメンタルジャーニー(仮)』(演劇)
日時: 11月 会場: ぼんプラザホール
- 赤星マサノリ×坂口修一二人芝居 全国ツアー2014
『タイトル未定』(演劇)
日時: 平成27年2月 会場: ぼんプラザホール
- 〈継続〉
- iaku 『人の気も知らないで』(演劇)
日時: 6月19日(木)~21日(土) 会場: 紺屋ギャラリー

舞台芸術

プロデュース公演 舞台『たいせつなきみ(仮)』

身近なホールで舞台芸術に親しんで頂くため、今年も市内2か所のホールで舞台『たいせつなきみ(仮)』を上演します。日本でも大ヒットしたマックス・ルケードによる同名絵本を原作に、今、子どもにも大人にも届けたい物語をお贈りします。

原作: マックス・ルケード 脚本: 島田佳代(演劇集団非常口)
演出: 広瀬健太郎(劇団風三等星)

日時: ①8月10日(日) ②8月23日(土)
会場: ①博多市民センターホール ②さいとびあ多目的ホール
チケット発売: 6月上旬予定
※詳細は決定次第、FFACホームページにて随時お知らせします。

公募

「九州戯曲賞」作品募集

今年も、九州戯曲賞で作品を募集します。
詳しい応募要項は、4月に下記サイトほかにて発表します。

対象作家: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県に在住、またはこの7県を主たる活動の場とする劇作家。
対象作品: 2013年の1月から12月までに書き下ろした作品。
最終審査員: 岩松了、中島かずき、古城十忍、横内謙介、岡田利規
賞金: 大賞50万円
応募締切: 5月末日
※詳細は、<http://www.krtc.info/>にてご確認ください。

PICK UP GOODS



3Dフィギュア「掌☆甲冑」

今話題のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」。当財団では、福岡市博物館が所蔵する黒田家の甲冑や兜を三次元計測し、3Dプリンターで出力した3Dフィギュアを製作しました! 掌サイズでありながら、実物同様の形状と色鮮やかな装飾が再現され、色々な角度からじっくりと鑑賞することができます。

【種類】 黒田官兵衛、黒田長政、黒田一成

【値段】 各3,300円(税込3,564円)

【サイズ】 約10cm前後

【販売場所】

福岡市博物館ミュージアムショップ

ユニバーサルカフェ(福岡市役所1階)

財団より郵送販売 (<http://www.ffac.or.jp/museum-goods/mailling.html>) ほか

【ご注文・問合せ先】

福岡市文化芸術振興財団 総務課 TEL: 092-263-6264 / FAX: 092-263-6259

※詳しくはこちらから <http://www.ffac.or.jp/news/2014/01/3d.html>



黒田官兵衛



黒田長政



黒田一成



平成26年度



賛助会「わの会」

文化芸術事業のサポーター募集!

FUKUOKA ART MUSEUM



福岡市美術館

FUKUOKA ASIAN ART MUSEUM



福岡アジア美術館

FUKUOKA CITY MUSEUM



福岡市博物館

賛助会「わの会」に入会すると...

福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館
常設展がフリーパス

特別展招待券やグッズ等が
当たるプレゼント企画を実施

福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館
特別展が団体料金で観覧OK ※一部対象外があります

会員様限定イベント
「わの会講座」開催

財団機関誌「wa」や
市美術館・アジア美術館・市博物館の
刊行物など文化芸術に関する
情報を年4回送付

福岡市文化芸術振興財団が
主催する公演や各種チケットを
「わの会」特別価格で販売

映像ホール「シネラ」
(福岡市総合図書館)
半額で鑑賞可能 ※一部対象外があります

提携施設(約50施設)に
割引料金で入場可能

入会特典

入会された方全員に
「福岡おせんぼバッグ」
をプレゼント!!

種類/有効期間/会費

個人一般会員 【全期】 2,000円
平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日
【半期】 1,500円
平成26年10月1日 ~ 平成27年3月31日

法人会員

【全期】 10,000円
平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日

入会受付場所

- 文化芸術情報館 アートリエ (福岡アジア美術館7階)
- 福岡市美術館ブックショップ
- 福岡市博物館ミュージアムショップ

問い合わせ

公益財団法人
福岡市文化芸術振興財団 総務課
Tel: 092-263-6257 Fax: 092-263-6259
Email wa@ffac.or.jp

「第5回福岡トリエンナーレ」
作家発表 福岡アジア美術館 中尾智路

おしゃべりな

学芸員



おしゃべりな学芸員にとって、
言いたいけど言えない、というの
は何とももどかしいものです。で
もその苦しみから、やっと解放さ
れました。福岡トリエンナーレの
全参加作家が3月上旬に発表され
たのです。

参加作家はアジア21カ国・地域
からの36組で、そのうちの半数以
上が日本初紹介。また、作家は30
〜40代が中心と、フレッシュな顔
ぶれが揃いますが、なかには国際
展の常連作家もいます。特に韓国
からは、昨年のドクメンタ(5年
ごと)にドイツのカッセルで開催さ
れる世界的な現代美術展)で、完
成度の高い映像作品を発表し、大
注目されたムン・キョンウォンと
ジョン・ジュンホの2人組が参加。
ムン・キョンウォンは、かつてア
ジア美術館に3カ月滞在し、川端商
店街や天神地下街でロケを行うな
ど、福岡にとっては馴染みの深い
女性作家です。

また、同じく韓国から参加する
チェ・ジョンファも、1994年に
福岡市美術館で開催された「第4
回アジア美術展」に出品し、その
後の活躍はムン・キョンウォン以
上です。博多リブレインの一角を
支えるカラフルな柱もこの作家の
パブリック・アートですが、そこ
で顔くあなたのマニアク指数は
かなりものです。

それはさておき、今回の大きな特
徴は、アニメやドキュメンタリーな
どを含めた映像作品が多いこと。ま
た、3組の日本人作家すべてを福岡
から選んだのも前回までとは大きく
異なります。さらに、36組の参加作
家とは別に、革新著しいモンゴル画
の特設部門を設置し、約10作家を紹
介するなど、今まではひと味も
ふた味も違う福岡トリエンナーレに
なりそうです。と、ここですでに字
数オーバー。まだしゃべりたいこと
はあるのですが、またヘース配分を
誤ってしまいました(汗)



参考作品: ムン・キョンウォン&ジョン・ジュンホ
「EL FIN DEL MUNDO」2012年

第5回福岡トリエンナーレ
http://www.fukuokatriennale.ajibi.jp/

「未来世界のパンorama」/ Panorama of the
Nextworld)をテーマに、36組の現代美術作
家が参加。美術館だけでなく、周辺地域に
も展開予定。詳しくは、以下のウェブサイ
トまで。

「第5回福岡アジア美術
トリエンナーレ2014」
9月6日(土)〜11月30日(日)

museums&theaters 展覧会情報 4-6月

福岡アジア美術館 Tel: 092-263-1100

カウントダウン、FT5!
一福岡トリエンナーレってなに?

4月3日(木)〜8月19日(火) ※6月4日(水)に展示替

「第5回福岡トリエンナーレ (FT5)」の前
に、第1回展 (FT1) から第4回展 (FT4)
までを、各回を印象づけた作品、展示風
景、パフォーマンスの記録などダイジェス
トで振り返ります。アジアギャラリーAに
て。(FT1,2は4/3〜6/3、FT3,4は6/5〜
8/19)



FT3 /
タイウィーサク・シントンディー (タイ)「力」2005

招待券 5組10名様 締切4月30日(水)

福岡市博物館 Tel: 092-845-5011

卒寿記念 藤城清治 光と影の世界展

3月21日(祝・金)〜5月11日(日)

日本における影絵作家の第一人者、藤
城清治。カミソリと数百色のカラー
フィルターを操り、猫などの愛らしい
モチーフから聖書や童話の世界、綿密
な風景画など幅広いテーマで独特の
世界を創り続けています。4月17日に90歳
の誕生日を迎える記念すべき今展で
は、福岡をテーマにした最新作を含む
約200点超の作品を展示します。



「アリスのハート」
2005
© Seiji Fujishiro/
Horipro

招待券 5組10名様 締切4月10日(木)

福岡市美術館 Tel: 092-714-6051

法隆寺展―聖徳太子と平和への祈り

4月19日(土)〜6月1日(日)

国宝「観音菩薩立像 夢違観音」
をはじめとする7〜8世紀の仏像
や、聖徳太子の姿とその生涯を表
した鎌倉時代の彫刻・絵画など、
国宝・重要文化財約20点を含む
法隆寺、聖徳太子ゆかりの宝物を
紹介します。



国宝・観音菩薩像「夢違観音」/
飛鳥時代/法隆寺蔵

招待券 5組10名様 締切4月30日(水)

九州国立博物館 Tel: 050-5542-8600

特別展「藤原道長[御堂関白記]ユネスコ世界記憶遺産登録記念
華麗なる宮廷文化 近衛家の国宝 京都・陽明文庫展」

4月15日(火)〜6月8日(日)

近衛家は、摂関政治の栄華を謳歌した藤原道長で知られる
藤原氏の嫡流です。本展では、平成25年6月、ユネスコの世
界記憶遺産に登録されたばかりの道長の日記「御堂関白記
(みどうかんぱくき)」(国宝)を特別公開。ほか、陽明文庫に
伝わる近衛家伝来の名宝の数々をご紹介します。



国宝 御堂関白記 (部分)
平安時代 寛弘6年
陽明文庫所蔵

招待券 5組10名様 締切4月30日(水)

博多座 Tel: 092-263-5555

六月博多座大歌舞伎

6月2日(月)〜26日(木)

藤十郎、梅玉、魁春、
東蔵、甞雀、染五
郎、愛之助ら豪華俳
優陣が初夏の博多を
熱く盛り上げます!

※4月12日(土)チケット発売開始!

アクロス福岡 Tel: 092-725-9112

合唱とオーケストラのための組曲
「筑紫讃歌」6月1日(日) 15:00開演



© 三浦興一

九州を愛した偉大な作曲家、
團伊久磨の「筑紫讃歌」を
贈ります。総勢200名の合唱
とオーケストラによる迫力
の演奏にご期待ください。

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ
Tel: 092-852-0600

日本映画名作選

4月2日(水)〜20日(日) ※休館日・休映日除く



「人間蒸発」(今村昌平監
督)「アントニー・ガウ
ディー」(勅使河原宏監
督)など、日本のドキュ
メンタリー映画の名作
17本を上映。

読者プレゼント! 下記を明記のうえ、郵便ハガキ、FAX、またはメールにてご応募ください。

- ①ご希望のプレゼントの施設名
- ②住所・氏名・年齢・電話番号
- ③「wa」を手にした場所
- ④よかったページ
- ⑤興味がなかったページ
- ⑥本誌以外で、アートに関する情報をどこから得ていますか
- ⑦本誌や財団に期待すること、ご意見など

応募先:
福岡市文化芸術振興財団 機関誌『wa』編集部
〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-10 福岡消防会館6F
Fax: 092-263-6259 / E-mail: pr-co@ffac.or.jp

【編集後記】 先日あるギャラリーに行ったところ展示のテーマにちなんで素敵なパッケージ入りのお茶が売られていました。それは桃のような甘く薫り高い白茶で、帰宅後もまた贅沢な気分になれたのでした。視覚のみならず味覚も満足させるアイデアと目利きのセンスに脱帽! でした。(内田)